

日 時：平成 27 年 12 月 18 日（金）18 時 30 分 ～20 時 10 分

場 所：克雪管理センター

対象地区：切明・葛川・平六・温川・井戸沢・大木平・一本木

参加人数：15 名

■要望、質疑応答

内 容
<p>○国道の草刈り、側溝の泥上げについて</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>昨年も話したのだが、国道から村までの道路の草刈り、側溝の掃除について、善光寺平は高齢化しているので市としての援助があればいい。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・事情はよく分かるが、町会の中で借上料などはマイロード・マイタウン整備事業で補助することができる。労力については町会から何人か揃えてもらい、事業を活用してやっていただくようお願いしていたかと思う。そういった問い合わせはしたのか。</li></ul> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>町会長でないので、わからない。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・では、その旨町会長に連絡する。せっかくある制度であるので、活用してもらいたい。</li><li>・気持ちは分かるが、そうなる善光寺平だけの話ではなくなる。どうしても駄目であれば、委託などをしてもらいたい。</li></ul> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>距離がある上に、人数も少ない。他の町会とは異なり、負担が大きい。何とか行政の支援をお願いしたい。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・担当課に確認し、連絡します。</li></ul> <p>（市民からの発言）</p> <p>提案だが、草刈りの件は善光寺平など、こちらの町会の場合は大きいトラクターがある。そのトラクターの後ろに付けることができる草刈り機は、カタログの値段で 150 万円あれば買うことができる。それに対して、市からマイロード・マイタウンで補助してもらおうと、1 人か 2 人で農作業の合間に草刈りが可能であると思う。</p>

(市の回答)

- ・今の提言は検討させていただく。

(市民からの発言)

部分的に水路を上げるとなると、建設課でなければ本格的な工事はできないと思う。

(市の回答)

- ・高齢化して人数が少ない状況はどこでもあると思う。草刈りや泥上げなど、マイロードマイタウン事業だけで行えないものは、役所の中で検討していきたい。
- ・高齢者が多い町会で地域を維持していくために、どういうやり方があるのか考えていかなければならない。

【その後の対応】

マイロードマイタウン整備事業などの活用を含め、町会管理をお願いしている旨を土木課より町会長へ12月22日に回答。

○防犯灯のLED化について

(市民からの要望・質問)

防犯灯のLED化だが、大木平は11月30日と12月1日となっている。これから葛川から上に来るのか。順番について聞きたい。

(市の回答)

- ・最初の予定では、大木平が一番についているはずだが、契約そのものが遅れていた。今年度中には設置を完了する予定である。また、設置に際しては雪の影響が少ないように上から下に来るようにしていた。

○集会施設について

(市民からの要望・質問)

古い集会所の建て替えについて、大木平は13戸しかないので、200平米もなくていいので来年にでも建ててほしい。

(市の回答)

- ・来年は尾上地域に2棟建てる予定である。大木平についてはその次の予定となっているので、設計や建て方などについて総務課とやり取りしてほしい。

○道路舗装について

(市民からの要望・質問)

毎年、春に行っているテンプラ舗装が無いのはなぜか。

(市の回答)

- ・ テンプラ舗装については担当に確認し、結果を連絡する。
- ・ 舗装や修繕、側溝整備には年に 8,000 万円の予算を見て行っているが、各町会に順を追って行っている。よくない所を優先して行っている。

(市民からの要望・質問)

町会長などから要望しないといけないのか。

(市の回答)

- ・ 要望を上げてもらえれば現場を見て対応する。市役所でも担当課が見て回っているが、住民の皆さんの感覚とも違う場合もあるので、要望してもらいたい。
- ・ 集会所も年に 1 億で 2 棟ずつと見ており、順を追って行う。

【その後の対応】

当該箇所は今年の町会要望箇所であるので、平成 28 年度予算確保に努めていることを 12 月 21 日に土木課より連絡。

○旧葛川小中学校の校舎利用について

(市民からの要望・質問)

1 億円をかけてデイサービスセンターを建てる必要があるのか。学校を使うことはできないのか。学校利用することの問題を聞きたい。

(市の回答)

- ・ 学校をデイサービスセンターにした場合、消防法の関係で大規模な改造が必要となり、1 億円を超える可能性がある。また、維持管理費も新築の場合は現在と同程度となるが、学校を改造した場合は 1 階から 3 階まで管理しなければならないほか、外壁や天井などに多額の修繕費がかかってしまう。それを考慮し、小さいものを建てることとなった。
- ・ 現在、旧小国小中学校はあすなろ理研で利用しているが、同じように事業を行う方がいるのか問い合わせを行っている状況である。
- ・ デイサービスに関しては指定管理者を含めて検討した結果、新しく建てた方がよいということになった。本当は学校を利用できればよかったのだろうが、難しい。

(市民からの要望・質問)

寿逢の件だが、24 年前に岩手県を視察したときは 2 階建ての学校の 1 階を活用し、2 階は物置として使っていた。今は消防法があるため 1 階ごとにできないのか。

(市の回答)

- ・当時の担当が消防に確認したところ、寿逢が1階に入るので2階と3階は変える必要が無いと思っていたが、木質を全て取り払わなければならないと指導を受けたと聞いている。
- ・役所でも会議の顛末を見てきたが、難しいようである。
- ・学校は教室の形態や構造がクラス単位だが、福祉施設は仕切りや構造が福祉基準である。クラスごとであれば同じ規模の部屋がいくつもあるが、福祉施設であれば壁を取り払う必要が出てくる。また、木造は燃えやすいということから福祉施設にはなじまないと言われた。
- ・大きな建物の一部分だけを見て福祉施設として扱うのは消防法上難しい。

(市民からの要望・質問)

1階は支所と診療所、2階と3階は福祉施設が良いと考えていた。また、葛川には温泉もあるので、ボーリングし直すことで、暖房に使うことができると考えていた。

(市の回答)

- ・2階に福祉施設は難しいと思う。
- ・メンテナンスの関係で受水槽が一番危ないと聞いている。
- ・管理の指摘や消防法の指摘があり、簡単にはいかない。寿逢の関係もあるので困っている所である。

(市民からの発言)

予算を組んでしまっているので、今となってはどうにもならないのでは。

(市の回答)

- ・9月議会に出す予定であったが、学校利活用等の絡みがあり出さなかった。しかし、施設を管理する人にとっては難しい問題であり、早くしてほしいということがあったので、12月議会で設計についてのみ出した。
- ・地域の人たちに利用してもらい、高齢になってもデイサービスセンターがあれば週に1、2回湯に入ることができるということで計画を組んだが、学校に建てるなどとなると難しい。
- ・時間をかければ可能であったかと思うが、高齢者の状況を考えると学校の問題があるものの、そのようにした方が良いと考えた。
- ・旧平賀町時代に寿逢は建てたが、ホールに寝ている人がいるなどして大変狭い。
- ・当初、利用者は8人であったが、現在は13人まで入所可能となっている。
- ・デイサービスが他地域は週に2回であるが、こっちは週1回の利用であり、何とかしたいと思いやらせてもらっている。

(市民からの要望・質問)

緑青園の建物などは平川市で建てたのか。

(市の回答)

- ・介護保険が無い時代は国・県の補助金で建てたが、介護保険制度が始まってからは、介護保険の保険料収入で運営することになった。寿逢は介護保険を利用しているデイサービスセンターであるので、本来は保険事業者が保険料収入で持つべきだが、東部地区はデイサービスを受けるためにバスで緑青園まで行かなければならなかった。それを解消するため、平賀町で作った。
- ・指定管理でやってもらっている。
- ・過疎債を使えば国から8割くるが、介護保険施設の場合は4割しかこなくなる。それでも、こちらの人のためになると思い、そのようにした。

○除雪について

(市民からの要望・質問)

隣に住む人が弘前に勤めているので、除雪の時間を早くしてほしい。何とかならないか。

(市の回答)

- ・路線は分かっているのか。路線が分かれば業者もわかる。今の除雪の時間はどうなのか。

(市民からの発言)

5時30分頃ではないのか。

(市の回答)

- ・除雪は雪の降り方で変わってくる。10センチメートル以上降るか、降る可能性がある場合は業者が動ける。支所より答えさせる。

【その後の対応】

葛川支所長より土木課へ要望を連絡した。

○道路の建設について

(市民からの要望・質問)

東部地域8地区のうち、半分が限界集落となっている。以前、県や議会などに、診療所を整地して駐車場にし、葛川支所を産直センターにしたいという陳情書を出した。寿逢は緑青園まで行かなくても良いように、診療所や支所と共に学校に入れば良い。また、今年の春に市長へ出した陳情書では、小国からの約700mの道路を要望した。ここから市役所に行くには約1時間かかる。葛川から小国に行く道路がいかに必要か。この道路があることで弘前から見た時に最短となる。平賀町合併時、私たちの地域は黒石市でいけばよいと

いう意見もあったが、旧竹館村の人であるからということで平賀町に入った。市役所にまっすぐ抜けることができる道路を要望したい。

(市の回答)

- ・陳情が上がってきていることは知っているが、葛川から小国への道路を通すとなると莫大な経費がかかる。その前にもやらなければならない所もある。しかし、以前議会にも言ったのであれば、行政の継続性もあるので会議録などを確認したい。
- ・様々な要望があり、現実的なものから行っているが、道路や直売所は現実的ではない。

(市民からの要望・質問)

診療所や支所をまとめることで、学校を活用することができる。道路は、災害時や診療所に医者が居なくなった場合に他の病院に通うため、重要であると思う。

(市の回答)

- ・医療に関して広域でやっていかなければいけないという流れになっている。特に救命救急に関しては弘前を中心に広域連携が進んでいる。話は分かるが、道路を拓げるよりも、医療に関しては黒石に行ってもらった方が良いと思う。

○防犯カメラの設置について

(市民からの要望・質問)

善光寺平は春になると畑の方に行ってしまう、町会に人がいなくなってしまう。今は犯罪はないが、良いからといってそのままにしておくのではなく、犯罪抑止のために防犯カメラの設置をお願いしたい。

(市の回答)

- ・それは録画しておいて何かあったときのために記録を見るためなのか、それとも防犯カメラを設置していることによる抑止力としての意味なのか。

(市民からの要望・質問)

抑止力になると思うのでお願いしたい。できれば行政の力で付けてほしい。

(市の回答)

- ・人がいない時期に犯罪事実は起こっているのか。

(市民からの要望・質問)

今は無いが、村の人が高齢化しており、不安である。

(市の回答)

- ・ごみの対策でカメラを使っているが、効果があるのは知っている。
- ・防犯目的となると、設置の角度などが問題になってくる。
- ・実際に犯罪が起これば考える必要があるが、犯罪が無い状況で抑止のための設置は難しいと言わざるを得ない。どうしてもというのであれば、町会長と相談し、模造のカメラや看板の設置などであれば良いと思う。
- ・市でやるとなると、あらゆるところから話が出てくるので、市で行うということは申し上げることができない。

(市民からの要望・質問)

町会長には了解を得て話している。

(市の回答)

- ・コミュニティ助成金を活用し、出来るかどうか相談してほしい。

(市民からの発言)

警察の話では、東部地区は空き家等があり、浮浪者が暮らしやすいようだ。実際に来ているということで、犯罪の兆候はある。

(市の回答)

- ・一本木にはコミュニティ助成金は17万円である。これで防犯カメラを購入するのは難しいと思う。
- ・防犯カメラは個人宅にも今はついている。町会の入り口にカメラを設置するととなると経費もかかると思う。

(市民からの要望・質問)

防犯カメラの維持管理費を教えてください。

(市の回答)

- ・玄関に設置するような安いものは6、7万円が可能である。検知している間は録画し続け、容量がいっぱいになると古いものから消すようなものである。

○井戸沢橋の解体について

(市民からの要望・質問)

来年、橋の解体を行うと聞いたが、確実なのか。

(市の回答)

- ・担当課が来ていないので分からないが、確認して連絡する。国や県のものかもしれない。

(市民からの発言)

当初作ったときは平賀町でやった。小林建設が手掛けたが、今は国のものではないか。葛川の橋もそうである。そちらも国のものではないか。

(市の回答)

- ・国から橋の危険度を調べるように要請があった。平川市は橋が多く、300以上ある。短い橋などでは叩いて確認すればよいが、大きな橋の場合は人が乗るアームなど用意しなければならず、経費がかかる。しかし事故が起こってからでは遅いので、調査を行うところである。
- ・碓ヶ関地域は橋の補修などで長寿命化をしている。市内のあらゆる橋も長寿命化しなければならないが、県と市でやるものがあるので、調べてから連絡する。

【その後の対応】

井戸沢橋は架け替えではなく補修工事を予定しており、平成28年度に設計業務、平成29年度に工事に入るために予算獲得に努めている旨をFAXにて連絡。

○西十和田トンネルについて

(市民からの要望・質問)

市とは直接関係ないが、平賀から黒石の活性化のために、十和田湖のトンネルを検討してほしい。津軽と南部を繋ぐことで交流や観光が違ってくるので、人の流れが変わってくると思う。

各自治体では過疎化が進んでいて、人を呼ぶことがテーマであると思う。市長として魅力ある平川市を発信して他地域からの流入を促す考えがあれば聞きたい。

(市の回答)

- ・西十和田トンネルは20年前から話はあるが、なかなか進んでいない。一番難しいのは青森県と秋田県にまたがること、工事費が莫大にかかることである。県としては自然破壊をしないように環境調査を行うということで10年以上経過している。現在、子ノ口のトンネルに着手しているが、以前の県議会の答弁で難しいと聞いていた。西十和田トンネル建設は青森県の自治体は積極的だが、秋田県が難色を示しているようだ。完成すれば今までと違う人の流れになると思うが、費用対効果を考えるとなかなかできないようである。
- ・他地域からの流入人口を増やすための施策は総合戦略にも盛り込んでいる。今、子育て住宅支援を行っており、新しく建てる時に60万円を補助している。市内の人を含めて120件から125件あり、うち25件は市外から平川市に家を建てにきており、2、3人は県外から平川市に来ている。これからも定住人口を増やすために、たとえば保育料の第2子からの無料化や住宅補助、子どもの医療費を中学校まで無料にするなど、平川市は



子育てしやすい地域であるとアピールするため施策を行っている。

- ・台湾の高校生のファームステイや農産物の輸出を行っている。そのほかふるさと納税もやっており、りんごやももを取り入れたところ、一昨年は7件だったが現在は申し込みが5,000件を超え、りんごの発送が追い付かない状況である。金額も7,000万円を超えている。もっと別な牛肉などを入れる方向でいる。東部地区のものも取り入れて平川市の魅力を発信したいと考えている。様々な方法で平川市を県内外に発信し、平川市に住みたいと思えるようにしたい。

○ごみの収集について

(市民からの要望・質問)

ごみ収集の際に、ごみ置き場においていかれることがあるが、理由が分からないと思うので、理由が書いてあればいいと思う。

(市の回答)

- ・名前を書いていなかったり、明らかに燃えるごみでないものなどは置いていくようである。しかし、回収業者も時間が無いので、理由を書いていくことが難しいと思われる。今度あれば連絡をください。

(市民からの要望・質問)

理由を書いたメモがあれば良い。理由が分からなければ直しようがないと思う。

○ドクターヘリの発着について

(市民からの要望・質問)

何かあった場合に、ドクターヘリが降りる場所はあるのか。

(市民からの発言)

ドクターヘリは旧葛川小中学校と旧小国小中学校であれば降りることができるのではないかと。防災ヘリは大きいので、学校の校庭だけであると思う。

(市の回答)

- ・ドクターヘリは救急車で救うことが難しい部分をカバーするが、葛川と小国の旧小中学校のグラウンドは降りることができるようだ。

【その後の対応】

東部地区には7カ所の駐機場（①旧小国小中学校グラウンド、②旧葛川小中学校グラウンド、③大木平集会所、④やすらぎ駐車場、⑤善光寺平駐車場、⑥津軽高原ゴルフ場、⑦びわの平ゴルフ場）があると総務課より回答。